

# 町長あいさつ



美波町は、2006(平成18)年3月31日「一人ひとりが輝いて生きるまち」「豊かな自然資源と地域を磨くまち」を基本理念としてスタートいたしました。

隣接している町と町との合併とはいえ、それぞれが長年に亘り独自の文化・伝統を築いてきた町どおしの合併でありましたので、行政の進め方・行政と町民との関わり方等々に差異があり、町民の皆さまには戸惑いも多々あったことと思います。そのような中で、この10年の間本町の礎を築いてこれましたのも、町民の皆様をはじめ町議会や関係団体のご支援ご協力の賜でありまして心から厚くお礼申し上げます。

さて、合併当時は国の三位一体改革が進められる中、地方分権改革推進法が成立し第2期の分権改革がその一步を踏み出した時期であり、本町を取り巻く環境がますます厳しさを増していた時期でもありました。町では、行政サービスの水準を維持・向上させながら新町の一体感の醸成に努めつつ活力ある地域社会の構築に向けて美波町集中改革プランにより財政の健全化を図るとともに住民の皆様のご意見ご理解をいただきながら町政を運営してまいりました。

その中で、合併翌年の2007(平成19)年5月に高規格「日和佐道路」の北河内～由岐IC間が部分供用されたことは、旧町間の移動時間が大幅に短縮されたことは勿論、人と人との交流推進、ひいては町の一体感の醸成にもつながったと感じています。

その後、2011(平成23)年3月には東日本大震災という未曾有の出来事があり、町として新たな課題への対応も求められる中、新町建設計画に盛り込まれた重要プロジェクト事業である「防災無線の整備統合をはじめとする防災関係事業」や「町立病院の建て替えをはじめとする地域医療・地域福祉の強化事業」など「住んでよかったと実感できるまちづくり」に取り組んできたところであります。

現在、本町には「人口減少」「少子化」「南海トラフ巨大地震への備え」や「地域の活性化」など様々な課題が山積していますが、これまでの歩みをしっかりと踏まえつつ若者が地域で住むことができるような環境づくりを進め、子育てのしやすい安全で安心なまちづくりに向け、昨年策定した「美波ふるさと創造戦略～共創によるまちづくり～」に基づき、美波町の強みを活かし人を呼び込むなど、活力ある美波町の創生に全力で取り組んでまいります。

本日の「合併10周年記念式典」を契機に、合併にご尽力された方々のご労苦に思いを巡らせ、これまでの歩みに思いをいたすとともに、本年をこれからの10年に向けてのスタートの年と位置づけ、本町のさらなる飛躍・発展に向け、果敢に挑戦してまいりますので、引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

美波町長 影 治 信 良

# 美波町の概要

## 海・山・川の恵みを活かし、知恵と心でつくるまち ～住んでよかったと実感できるまちを目指して～

日和佐町と由岐町は昔から上灘と呼ばれ、「室戸阿南海岸国定公園」に指定された風光明媚な海岸線を有し、漁業を中心とした産業や歴史、また文化面において古くから結びつきがありました。

2町それぞれの歴史や文化を大切にしながら地域特性を生かした一体的なまちづくりを進め、さまざまな行政課題に対応するため合併協議を経て、平成18年3月31日に「美波町」が誕生しました。

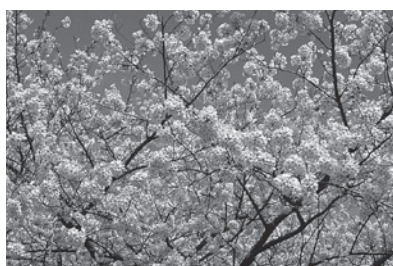
海・山・川といった豊かな自然の恩恵を受け生活や文化が育まれ、温暖な気候で暮らしやすい環境や人柄の温かい風土を活用し、子どもから高齢者まで、町民一人ひとりがいつまでも安心して健やかにいきいきと暮らし、住んでよかったと実感できるまち、そして、訪れた人が住んでみたいと思えるまちの実現を目指しています。



美波町の町章

美波町の人口と世帯数  
(平成28年2月末日現在)

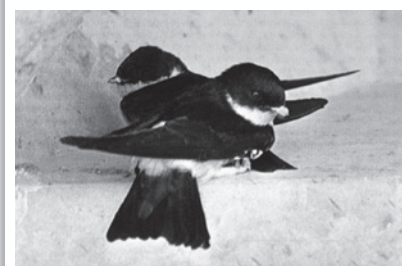
総人口	7,281人
男	3,363人
女	3,918人
世帯数	3,434世帯



町の花「サクラ」



町の木「ウバメガシ」



町の鳥「イワツバメ」

